

2021 年度 自己評価 結果及び対策・改善報告書

評価項目	評価結果 及び 対策	改善結果（進捗状況）
I、環境・体制整備	<p>コロナウイルス感染予防対策として、特に給食やおやつ時等は、できるだけ対面での実施を避けて対応。引き続き、検温の実施や消毒、換気の徹底を行った。行事や活動は、感染状況を詳しく確認しながら、その時にできる形で実施をするよう努めた。</p>	<p>緊急事態宣言下において、中止となった行事もあったが、保護者座談会や講演会は web で開催することができた。また、児童の発表の場も人数制限をして実施し、高い参加率を得た。</p>
II、業務改善	<p>日々の申し送りや、クラス会議での振り返りを継続し支援計画や療育活動の改善を行った。法人内における相互チェックを実施し、評価結果を業務改善につなげていく。保護者向けアンケートの結果を踏まえて、事業計画に反映する。外部研修の機会は少なかったが、web での参加をした。内部での勉強会は今年度より、開催の時間帯を増やし、多くの職員が参加できるよう見直し継続的に実施した。</p>	<p>日々の振り返りを行い、児童の成長や課題については、保護者とも共有することができた。法人内の同事業間でチェックを行うことで、改善面だけではなく、良い取り組みについて発見することもできている。</p>
III、適切な支援の提供	<p>担当制を設け、活動の立案や準備をペアで行う等して、活動プログラムを作成し、内容の工夫をした。長期休暇には、クラスの必要度に応じて S S T のプログラムを取り入れた。また、支援目標に沿った記録をし、支援の評価、改善につなげている。</p>	<p>活動プログラムの立案をチームで行うよう、定期的に話し合いの場を設けた。また、電子黒板やタブレット等活動の中での ICT の活用を進めている。</p>
IV、関係機関や保護者との連携	<p>相談支援事業所や学校等とは連携をとり、必要に応じて情報の共有を行った。また、医療的ケアが必要な児童については、訪問看護等との連携を行っている。お迎え時や面談時に、子どもの成長や課題についてお伝えすることは継続している。保護者座談会では、将来に見通しを持って過ごせることを考え、先輩保護者を講師として招いた。</p>	<p>はなえみを知ってもらい、より良い連携をするため、市内小・中学校へはなえみ便りの配布を実施。保護者座談会は感染拡大防止に配慮して web で実施し、ペアレントプログラムの内容を取り入れた。</p>

V、保護者への説明責任等	4月・10月に事業所説明会を開催し、支援方針や年間行事、次年度の体制等について説明の機会を設けている。契約時には、契約書、重要事項説明書の内容について説明を行っている。保護者からの相談には普段から耳を傾け、必要に応じて面談の機会を作っている。	施設内への立入りや見学が制限される中、少しでも支援の様子をお伝えできればと考え、写真を玄関に貼り出したり、お便りの写真をカラーで掲載するなどした。
VI、非常時等の対応	避難訓練は、毎月様々な状況を想定した訓練を実施している。訓練予定は、年間計画と月の予定表でお知らせしている。各マニュアルを職員間では周知しているが、保護者にはすべてのマニュアルをお伝えできていない現状である。虐待防止や身体拘束については、勉強会に参加し適切な対応を心掛けている。	毎月の防災訓練については、計画を元を実施し、その都度振り返りを行い、実際の災害発生時に活かせるよう努めている。日々のヒヤリハットについては、事故報告書を作成・共有・評価し再発防止に努めている。

(まとめ)

今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながらの一年でした。昨年度の経験も活かしながら、より良い支援を行うためにはどうしたらよいかということを試行錯誤しながらも、皆様のご理解とご協力のもと無事に過ごすことができましたことを感謝申し上げます。人とつながることが容易ではなくなってきたこの頃ですが、今後も、子どもたちが様々な体験に挑戦でき、社会や地域とつながって成長できる環境作りに努めて参りたいと思います。